

知っていますか？ 専用水道

『専用水道の定義』

『専用水道設置者の義務』

専用水道の定義

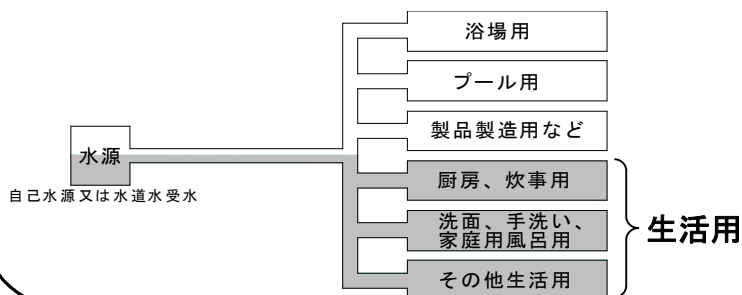
(法令等)

寄宿舍、社宅、療養所、養老施設等における自家用の水道その他水道事業の用に供する水道以外の水道であって、百人を超える者にその居住に必要な水を供給するもの又はその水道施設の1日最大給水量が20m³を超える施設(生活の用に供するものに限る)をいう。

居住人口が百人を超える場合、専用水道になります。ただし、居住であり滞在ではありません。

特定の需要に応じて水を供給する水道は、すべて専用水道の可能性があります。

公衆浴場、プール、製品製造用などの生活の用に供するものではないものは、給水量に含みません。



ただし、他の水道から供給を受ける水のみを水源とするものは、専用水道にならない可能性がありますので、以下を確認ください。

専用水道の適用除外

他の水道から供給を受ける水のみを水源とする水道であって、口径25mm以上の導管の全長が1,500m以下であり、かつ、水槽の有効容量の合計が100m³以下である水道については、専用水道から除外されます。

ただし、地表からの浸水等による汚染のおそれのないように設置されているものは、上記の導管延長や水槽容量の算定から除きます。

別紙1を参照ください。

専用水道設置者の主な義務

(確認申請書の提出)※市内に設置の専用水道については、市が確認します。

布設工事を行う前に、水道施設の技術的基準に適合するかどうか、保健所に確認する必要があります。新たな施設を増設するときなどにも、同様の確認が必要になります。

(給水開始前の届出及び検査)※市内に設置の専用水道については、市へ届出てください。

給水開始しようとするときは、あらかじめ保健所にその旨を届出なければなりません。また、水質検査及び施設検査を実施し、記録を5年間保存しなければなりません。

(水道技術管理者の配置)

法令等に基づき、一定の経験年数を有するものを水道技術管理者として配置し、施設を管理しなければなりません。

(水質検査の実施)

法令等に基づき、定期及び臨時の水質検査を行い、記録を5年間保存しなければなりません。検査項目については、別紙2を参照ください。

(健康診断の実施)

水道業務に従事するものは、法令等に基づく定期及び臨時の健康診断を行い、記録を1年間保存しなければなりません。

(衛生上の措置)

水道施設の管理及び運営に関し、法令等に基づき、消毒等の衛生上必要な措置を講じなければなりません。

(緊急時の措置)※市内に設置の専用水道については、市へ報告してください。

供給する水が人の健康を害するおそれがあることを知ったときは、直ちに給水を停止し、その旨を関係者に周知しなければなりません。そのほか、水質検査の結果に異常があったときは、その旨、保健福祉事務所に報告する必要があります。

詳しくは、お近くの保健福祉事務所又は県庁食品・生活衛生課へお問い合わせ下さい。

渋川保健福祉事務所	0279-22-4166	吾妻保健福祉事務所	0279-75-3303
伊勢崎保健福祉事務所	0270-25-5066	利根沼田保健福祉事務所	0278-23-2185
安中保健福祉事務所	027-381-0345	太田保健福祉事務所	0276-31-8243
藤岡保健福祉事務所	0274-22-1420	桐生保健福祉事務所	0277-53-4131
富岡保健福祉事務所	0274-62-1541	館林保健福祉事務所	0276-72-3230
		食品・生活衛生課	027-226-2446

※ 市内設置の施設については各市にご確認下さい。

専用水道適用判断

① 施設規模を整理

水道施設の整理(1: 共通)

計画給水人口 P_0		人
	うち 居住人口 P	人
1 日最大給水量 Q_0		m^3
	うち 公衆浴場用 Q_1	m^3
	プール用 Q_2	m^3
	その他製品製造用 Q_3	m^3

※その他製品製造用とは、食品などの製品を工場で製造するために使用するものであり、旅館や食堂などで、給仕するために厨房で使用するものは含みません。

居住人口 $P =$ _____ 人

生活用 1 日最大給水量 $Q = Q_0 - Q_1 - Q_2 - Q_3 =$ _____ m^3

水道施設の整理(2: 他の水道から供給を受ける水のみを水源)

φ25 以上の導管延長 L_0		m
	地表からの浸水等による汚染のおそれのないように設置されているもの L_1	m
水槽の有効容量 V_0		m^3
	地表からの浸水等による汚染のおそれのないように設置されているもの V_1	m^3

別紙1を参照ください。

汚染の可能性のある導管延長 $L = L_0 - L_1 =$ _____ m

汚染の可能性のある水槽有効容量 $V = V_0 - V_1 =$ _____ m^3

②適用判断

